

## 第4号議案

電源接続案件募集プロセス（大分県日田エリア）における入札対象工事の追加について

（案）

本機関が、平成28年10月12日に募集要領を公表した電源接続案件募集プロセス（大分県日田エリア）（以下「本件募集プロセス」という。）において、募集要領の増強工事案では全ての応募者が連系出来ないため、当該募集要領の規定に基づき、入札対象工事に、全ての応募者が連系可能な増強工事を追加し、当初対象としていた工事と併せて入札を実施する。

具体的な工事内容、入札手続き等は以下のとおりとする。

### 1. 新たに入札対象に追加する工事

#### （1）工事の内容

以下、④、⑤の工事にて、全ての応募者が連系可能な増強工事案とする。これらの工事を総称して、「全ての応募者が連系可能な増強工事」とし、新たに入札対象に加える。（各工事の詳細は、別紙1のとおり。）

④ 220kV 熊本日田線増強工事

⑤ 日田変電所 220/66kV 変圧器増強工事

#### （2）工事費

総額：約355.2億円（税抜）

#### （3）工事完了予定時期

電源接続案件募集プロセス完了時から、約11年3か月後

### 2. 入札手続き

本件募集プロセスの応募者は、以下（1）又は（2）のいずれかの方法で入札を行うこととし、開札の結果、入札の成立条件を満たした増強工事のうち、最も連系可能量が大きい増強工事を実施することとする。

(1) 当初の入札対象工事のみを対象に入札

入札の結果、全ての応募者が連系可能な増強工事を行わず、当初の入札対象工事を行うこととなった場合のみ、費用負担し、電源の系統連系を行うという前提で入札するもの。

(2) 当初の入札対象工事及び全ての応募者が連系可能な増強工事を対象に入札

入札の結果、実施することとなった工事の内容にかかわらず、費用負担し、電源の系統連系を行うという前提で入札するもの。

### 3. その他

その他、入札に関する具体的な手続きは募集要領に定めるとおりとする。  
今回の決定に基づき、応募者に通知する内容は別紙2のとおりとする。

以上

(参考：本件の趣旨)

電源接続案件募集プロセスの募集要領を作成する際は、系統連系希望者に受容性があると考えられる工事費（単価）及び工期において、最大限の潜在電源が連系可能となるよう増強工事の内容を精査しているが、個々の系統連系希望者が許容する工事費や工期が想定以上の水準である可能性も否めないことから、今回のように募集枠を越えて応募があった場合には、募集要領に定める通り、元々示していた増強工事に加えて、全ての応募者が連系可能な増強工事を提示し、双方を入札の対象とすることとしている。

大分県日田エリアでは募集枠を超える応募があったため、追加で提示する全ての応募者が連系可能な増強工事を策定したものです。

#### 【添付資料】

別紙1：全ての応募者が連系可能な増強工事の概要

別紙2：通知文

別紙3：募集要領抜粋(応募容量が募集容量を超過した場合の入札方法について)

## 別紙8 応募容量が募集容量を超過した場合の入札方法について

○ 応募容量が募集容量を超過している場合は、原則として※、入札対象工事として、募集要領に記載の増強工事に加えて「すべての応募者が連系可能な増強工事」の2つの増強工事を入札において提示します。

○ この場合の入札方法等は次のとおりです。

## 1. 入札方法

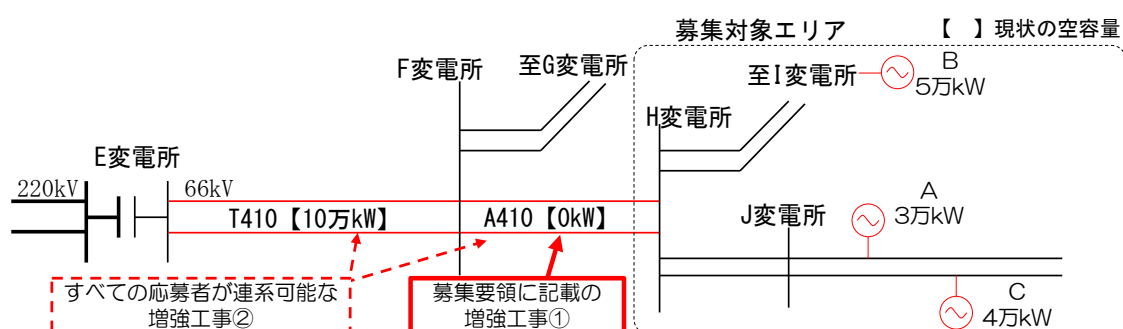
- ・ 入札者は工事費・工期などから上位系統対策として負担可能な額（入札額）にて、
  - ① 募集要領に記載の増強工事のみ
  - ② 募集要領に記載の増強工事 及び すべての応募者が連系可能な増強工事のいずれかに入札申込みを行う。

## 2. 対策工事決定方法

- ・ 原則として、入札の成立条件を満足した増強工事のうち、最も連系可能量が大きい増強工事を入札対象工事とし、以降のプロセスを進める。

※ 超過量が僅少な場合など、入札段階では募集容量以下となる蓋然性が高い場合は行いません。

[系統状況の例]



[入札状況の例]

入札者	入札額(単価)	入札申込み	
		増強工事① (+9万kW、18億円、5年)	増強工事② (+13万kW、93億円、8年)
A	3万kW 8万円/kW	○ (1位)	○
B	5万kW 4万円/kW	○ (2位)	×
C	4万kW 2万円/kW	○ (ただし、落選)	×
総額	—	当選者ABで4.4億円(成立)	24億円(不成立)